

神戸製鋼所、Thai Kobe Welding、ハノイ工科大学機械工学部、
大阪大学接合科学研究所
国際産学連携共同研究調印式典開催

広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業
国際人材育成部門 特任准教授 勝又 美穂子(常勤)

2019年4月22日(月)に、神戸製鋼所、Thai-Kobe Welding、ハノイ工科大学機械工学部、大阪大学接合科学研究所の4者による国際産学連携共同研究の調印式典がハノイ工科大学にて開催されました。

接合科学研究所は、2016年7月よりハノイ工科大学機械工学部溶接学科内にJWRIオフィスを設置し研究・交流活動を推進し、ベトナムにおける溶接・接合技術の強化と研究ニーズに応えるべく、同分野における日本の研究・教育能力の移転と、同分野の研究人材育成に取り組んでいます。経済・産業発展の目覚ましいベトナムでは発展が次の段階へ差し掛かる中、溶接・接合に係る技術管理、開発能力の強化は喫緊の課題です。

2018年5月31日には、安倍首相ならびにクアン前ベトナム国家主席による日越首脳共同声明が発表され、国際産学連携によるベトナムにおける科学技術人材の育成に対する日越連携の推進が表明されました。同共同声明に基づき、当研究所はハノイ工科大学と共にベトナムにおける溶接・接合技術の研究・教育、人材発展に寄与する「ベトナム溶接技術研究所(仮名)」の設立を目指しています。

こうした活動の一環として、この度は兼ねてより強い連携のある神戸製鋼所、Thai-Kobe

Welding及び、ハノイ工科大学溶接学科との連携による国際産学連携共同研究を開始するに至りました。

調印式には、駐ベトナム日本国大使館より麻妻信一次席公使及び土屋武大参事官、のご臨席を賜りました。また、神戸製鋼所溶接事業部門技術センター 清水弘之センター長、同溶接開発部森本朋和部長及び、Thai-Kobe Welding 長谷川禎之社長他、当研究所からは田中 学所長他、ハノイ工科大学からはDinh Van Phong 副学長、Pham Van Hung 機械工学部長、Bui Van Hanh 溶接学科長他が参加しました。式典では麻妻次席公使より、「昨年は日越両国の外交樹立から45周年という節目の年でしたが、本年新たな45年の第一歩となる重要な年に、本日調印された皆様が協力し、国際産学連携共同研究を通して、ベトナムの生産性向上に貢献することを期待します」のお言葉を頂戴し、同活動への強い期待を表明頂きました。

本活動を通し、ベトナムの溶接・接合に係る高度技術の醸成と産業発展への貢献は勿論、技術・品質の向上に邁進する在外日系企業への貢献にも大きな期待が寄せられます。当研究所としてもこうした期待に応えるべく、今後共ハノイ工科大学を始めベトナム全土における関係機関との連携強化を加速させて取り組む予定です。

(次ページ写真)



調印式の様子

上段左3人目より 駐ベトナム日本国大使館 麻妻次席公使、ハノイ工科大学 Dinh Van Phong 副学長。下段左から TKW 社長谷川社長、神戸製鋼 清水センター長、ハノイ工科大学 Pham Van Hung 機械工学部長、大阪大学接合研 田中所長。



ハノイ工科大学 Dinh Van Phong 副学長による開会挨拶